

放課後等デイサービスどれみくらぶ評価表

事業者

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%			・スペースの使い方を検討し、活動が円滑に行えるようになった。
	② 職員の配置数は適切であるか		25%	75%	・学年によって下校時間が異なるため便数も増え、介助者なしの送迎が常態化して数年となる。どの部署に相談しても放置されており現場努力だけでは限界となっている。 ・送迎で職員が不在となるため、受入時に送迎に行った職員がそのまま受入を行っており見守り不足となっている。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	100%			・トイレが子ども用でないため、座りにくい。また、洗面所が車椅子だと使いにくい。
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	50%	50%		・毎日ミーティングを行ってから業務を開始している。
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%			・アンケート結果を踏まえ改善に繋がれるよう可能な限り努めている。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%			・HPで公開している。
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	25%	25%	50%	
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	25%	25%	50%	・定期的開催している職員研修への参加の機会を確保している。参加できない場合は研修内容の資料の回覧を行っている。 ・外部研修に職員を出すと現場の人員が不足するため参加できない。
適切な 支援の 提	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			・毎日の変化や家族の状況など職員間で些細なことでも情報交換を行い計画の作成に繋げている。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	25%	25%	50%	・特にツールは使っていない。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%			・新型コロナウイルスの影響で大きな行事を行うことができない。毎日の活動については担当制を設けて実施している。
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	75%	25%		・季節感があるものを取り入れたり、同じ活動にならないよう立案時に工夫している。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	25%	75%		・利用者の状態の幅が大きいため、全員が参加できる活動を行っている。
⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			・専門職の意見を踏まえながら作成している。	

供	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%				・当日の業務分担や利用者の様子について必ず打ち合わせを行い業務にあたっている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	75%	25%			・全員での打ち合わせが難しい場合は翌日に必ず情報共有をしている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%				・些細なことでも記録を残すようにしている。
	⑱	定期的にもニタリングを行い、放課後等サービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%				
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	50%	25%	25%		・ガイドラインと照らし合わせる作業が行えていない。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%				・開催時間帯によっては難しい場合がある。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	50%	25%	25%		・学校から直接行事予定などのお知らせはない。そのため、保護者から確認している。 ・突然の連絡など送迎に出た後での連絡がありトラブルもある。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	25%	25%	50%		・相談支援事業所を通じて必要な方は主治医から意見書等で確認し、こちらの医務と連携しながら可能な範囲で対応している。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	25%	75%			・必要な方がいれば行う。
	㉔	学校を卒業し、放課後等サービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	25%	50%	25%		・相談支援事業所から依頼がある場合のみ提供している。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		50%	50%		・必要に応じて同法人の児童発達支援センターから助言を受け連携を図っている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			100%		・特養が併設している施設のため感染症対策等が他より厳しいため実施できていない。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか			100%		・同上
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%				・送迎の際にお話させて頂いたり、連絡帳への記載を行っている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		50%	50%		・必要時に助言や支援を行っている。

保護者への説明責任	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	75%		25%	・契約時に説明させてもらっている。また内容の更新等あれば書面でお伝えさせてもらっている。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%			・必要時に助言や支援を行っている。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		25%	75%	・以前は親子行事といった形で行っていたが、今年度も新型コロナウイルスの感染予防のため行っていない。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%			・苦情などがあった際には苦情受付窓口担当者をまじえて迅速に対応を行っている。またリスクマネジメント委員会に取り上げることで今後の対応・対策を考えている。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		50%	50%	・毎月の行事予定を配布し、必要時にお知らせと言う形でお便りを配布している。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	100%			・契約時に個人情報に対するアンケートを行い職員に周知している。
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%			・必要に応じてツールなども利用して意思の疎通や情報伝達を行っている。
非常時等の対応	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	25%	25%	50%	・併設する特別養護老人ホームの行事で地域住民があるが、新型コロナウイルスの影響で行事も中止となり交流の機会がなかった。
	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	75%	25%		・職員には周知されているが保護者への周知が契約時のみである。
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	75%	25%		・消防計画に基づき行っている。
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	50%	25%	25%	・虐待防止委員会に参加している。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100%			・支援計画に記載し保護者の同意を得ている。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	25%	75%		・保護者から確認は取れているが、医師からの指示書の確認が行えていない。
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	75%	25%		・リスクマネジメント委員会にて月ごとに事例集を作成している。